

筑後川遺産保存活用の推進プラン（6）梅林寺四百年 - 大名有馬家の菩提寺 -

【①ストーリー】

梅林寺は、山号を江南山、如意輪観音を本尊とする臨済宗妙心寺派の古刹で、九州一の修行道場としても知られます。元和7年(1621年)、有馬豊氏が丹波国福知山から久留米初代藩主として入封するのに伴い、福知山の瑞巖寺を久留米城西南の要の地に移し、大名有馬家の菩提寺としました。梅林寺には有馬家の歴代藩主が祀られ、本堂北側の小高い丘の上には、久留米藩主有馬家墓所が広がります。その中で、藩祖則頼と初代豊氏、豊氏室、2代忠頼を祀った霊屋5棟は、江戸時代前期に建立された久留米市最古の木造建築で、当時の姿を留めています。境内には江戸時代中期の山門をはじめ、数多くの歴史的建造物が建ち並びます。

多くの高僧を輩出した寺でもあり、絹本著色釈迦三尊像をはじめ多数の什宝は、悠久の仏の美と祈りを映しています。また、外苑には500本の梅の木、躑躅、数種の緑樹が、寺域の紅葉、銀杏とともに移りゆく四季景色を魅せます。山門をくぐると常緑の松樹と白い築地塀は美しく、一般参観を遠慮する堂宇は静かな緊張をたたえ、その先へと歩みを進める人々に、梅林寺400年の時が語りかけます。



【②構成する歴史遺産】

- (国)久留米藩主有馬家墓所
- (国)有馬家霊屋五棟
- (国)絹本著色釈迦三尊像
- (県)梅林寺唐門
- (県)絹本著色楊柳観音像
- (市)木造薬師如来坐像
- (市)木造如意輪観音坐像
- (市)木造如来形坐像
- (市)梅林寺のソテツ
- 山門
- 本堂
- 座禅堂
- 開山堂
- 位牌堂
- 経蔵
- 鐘楼
- 庫裏
- 書院
- 石橋
- 枯山水庭園
- 外苑
- ティーハウス梅苑

【③課題】

貴重な什宝、境内、外苑を災害や盗難等の様々なリスクから守る対策が十分ではありません。また、梅林寺の歴史的背景や季節ごとの美しさを多くの人と共有できていません。



【④未来のストーリー】

経年による劣化だけでなく、災害や盗難等の様々なリスクに対応し、梅林寺の什宝、境内、外苑を一体として守り伝えていきます。

日常の厳かな空間を守りつつ、歴史的背景や季節ごとの美しさを多くの人と共有する取組を行うことで、梅林寺を身近な存在として、大切に思う心を育てていきます。

実現の仕方

- 梅林寺に伝わる歴史遺産の調査・研究
- 梅林寺の一般公開機会の創出
- 梅林寺境内歴史遺産の防災・防犯等、保存環境の整備
- 梅林寺境内歴史遺産の整備

【⑤体制】

(令和3年6月時点)

地域	市民	京町他
	市民団体	NPO 法人久留米ブランド研究会
	事業者	
	関係機関	梅林寺
久留米市		文化財部局、観光部局ほか